

胃癌学会全国登録に関する研究

1. 研究の対象

2011年1月から2011年12月までに当院で胃癌に対する内視鏡治療を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

日本胃癌学会では、学会に参加する施設で診療を行った胃癌患者さんの診断・治療情報を登録し、胃癌の発生・受療の状況、予後を明らかにし、胃癌の予防、胃癌対策、胃癌医療の向上に役立てる取り組み（全国胃癌登録）を実施しています。当院も、日本胃癌学会の全国胃癌登録の趣旨に賛同し、登録事業に参加しております。当院で胃癌に対して内視鏡治療を受けられた患者さんについて、氏名、住所などを削除した下記のデータを学会事務局に提供します。学会では全国から送られてきたデータを集計し、結果は定期的に学会の医学英文雑誌「Gastric Cancer」誌に掲載されます。

1年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、治療日、年齢、胃癌の部位、治療の偶発症、再発年月日 等

4. 外部への試料・情報の提供

登録センターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で送付します。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

日本胃癌学会・登録委員会

委員長 掛地吉弘 神戸大学大学院 食道胃腸外科

委員 赤澤宏平 新潟大学医歯学総合病院 医療情報部 他13名

参加施設 約110施設予定（日本胃癌学会ホームページ <http://www.jgca.jp/>で公開予定）

6. お問い合わせ先

千葉県柏市柏の葉6-5-1

TEL04-7133-111

国立がん研究センター東病院消化管内視鏡科 矢野友規

研究代表者：掛地吉弘 神戸大学大学院 食道胃腸外科

-----以上